

# みどりの ニュースレター

4  
2011  
No.215

市民の発信で持続可能な社会をつくる

## 緊急特集：環境NGOとしての被災地支援 福島原発の重大事故について

今回の原発関連情報は、3月25日（金）段階の情報をもとに構成していますので、最新の情報をもとに、各自、冷静にご判断ください。

3月11日に起こった東北地方太平洋沖地震で亡くなられたみなさまのご冥福をお祈りするとともに、被災されたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

環境市民は、その名称の通り環境問題に取り組む自発的な市民が集まったNGOです。ただ、狭い範疇の環境問題への対応だけではなく、持続可能で豊かな社会を創ることを大きな目標として掲げています。

私たち環境市民がよって立つ基盤は、生命と、その生命を生み育む地球環境をなによりも大切にしたいという想いです。大震災によって多くの生命が奪われ、そして現在もその危機が続いています。このような事態においては、環境市民としてできることを最大限、行動していくべきだと考えています。

続き 次ページへ→

### index

特集：福島原発の重大事故について	01-07	とれたて！ 環境市民	12-13
特集：春の生き物観察	08-10	水 Do！キャンペーン 急須で淹れて楽しむ 2Rのお茶会～おいしいお茶と未来の環境～／鴨川の野鳥に環境変化を観る！～鴨川に暮らす鳥、飛来する鳥観察会～	
行事案内	11	読者交流コーナー みどりのかわらばん	14
編集員が行く！	11	1/ 環境市民	15
神奈川・境川遊水池公園の春イチバン		「今しかできないこと」に向かって進んで行きたい／新井 佳恵さん	



特定非営利活動法人

## 環境市民

収益の一部は環境市民の活動資金として使わせていただきます。なお、会員には毎月無料配布しています。  
このニュースレターはボランティアの手で折られ発送しています。

¥200

21世紀 地球を、地域を、生活を、持続可能な豊かさに  
<http://www.kankyoshimin.org/>



Twitterやってます！  
アカウントは kankyoshimin です。

## 阪神淡路大震災の経験から NGOの自発的な活動と行政の支援活動の連携が重要

95年に起こった阪神淡路大震災に際しても、環境市民は行動しました。神戸市立こうべ福祉交流センターに現地事務所を開設し、1か月あまり活動を続けました。避難所に来られない人、特に独居高齢者や障害のある方などひとり一人に、必要な物品を自転車とバイクで配達し、声をかける活動でした。これは、行政ではできないNGOならではのきめ細かな活動です。この度の震災に対して、都道府県や政令指定都市で、ボランティア活動をまとめようという動きがあります。効率的な活動のためだとされています。しかし、阪神淡路での経験から言うと、このような行政主導の動きは、その対象からこぼれおちる被災地、被災者を生みやすく、かつ効率的でもありませんでした。そこで「アメンバー」的に活動を広げた様々なNGOが互いに連絡をとりあ

い、かつ行政機関とも橋渡しを行い、必要な支援活動を繰り広げたのです。行政が統制するボランティア活動が中心になるのではなく、行政の支援活動とNGOの自発的な支援活動が互いに長所を活かして、相乗的に行われることが望ましいのです。このことが後に社会的に大きく評価され、日本のボランティア元年といわれ、NPO法を生むことになりました。大震災に対しては、初期の救命を第一とする時期の活動について、被災者への支援活動、復興活動と段階を経ていくこととなります。NGOの活動は主にこの被災者への支援活動から本格化します。環境市民では、現地の人々のニーズに合わせた本当に必要とされる支援活動を、構築し、取り組んでいきたいと思えます。ぜひ皆様の支援、協力をお願いいたします。

### 被災地からのメッセージ

本会会員 気仙沼市 ガス水道部職員 阿部 貴之さん

道路も通ってきていて、電気の水道も徐々に通ってきていて、復旧し始めてはいますが、被害が大きすぎてまちの中は何もない状態です。ただ瓦礫が山積みです。地震発生当初、避難者は2万人ほどいましたが、現在は1万7000人ほどになってきています。家も流され、仮設住宅もまだ建設されていないので、避難所生活が長引くことが予想されます。現在、60~70人の市の職員が作業にあたっています。市役所本庁の1階部分は水没しましたが、基幹部分は何とか残っているので、インターネットサーバーの復旧などの通常業務

気仙沼市在住の会員さんより現地の状況を教えてくださいました。(3月23日午前10:30現在)

も、災害対策と平行して行っています。

産業面では、漁業組合関係者が会議をしています。港は破壊され、漁船は陸に乗り上げ、内陸にあった工場もすべてなくなっているため、今後の見通しはたっていない状況です。さんま、鯉、マグロなどの漁獲高は日本有数の都を頑張って復興させたいと思えます。

普通の生活に戻るには何年かかると思えます。救援物資は続々と集まってきているので、引き続き支援を続けていきたいです。

### (タスキプロジェクト) 東北・被災地に物と心を送る「TASUKI PROJECT」

環境市民では、NPO法人阪神淡路大震災「1.17希望の灯り」(略称HANDS)さんが行う『TASUKI PROJECT』(タスキプロジェクト)に賛同し、東北地方太平洋沖地震の支援のため、洋服や日用雑貨などの募集をしました。3月19日から呼びかけを始めたところ、たくさんのタスキのバックが事務所に届きました。(3月30日現在約1,000バック)

**TASUKI PROJECT (タスキプロジェクト) とは?**

被災された方々へ、手から手へ、必要なものをお届けするこんな時にこそ日本がひとつにならなくては!そんな思いを「タスキ」にたくしてスタートしたプロジェクトです。ポイントは、「自分のお気に入りのもの(洋服や下着、雑貨)」を東北地方に住んでいる、自分と同じサイズのおともだちにプレゼントするところ。バックの中にはプレゼントの送り手のメッセージを入れます。被災地への物資の提供を一人ひとりの思いと一緒にのせて届けることができる一対一の支援です。

#### HANDSの代表堀内正美さんからのメッセージ

「困った時はお互いさま」、昔からある日本にある相互扶助の考えはこれに凝縮されていると思えます。神戸の震災の時、たくさんの東北の方々に支援していただきました。困った時はお互いさまスピリットを次の世代にも語り継いでいかないといいと思います。

.....  
受付は終了しています。現在の募集状況はウェブサイトをご覧ください。事務局までおたずねください。  
.....

**NPO法人阪神淡路大震災「1.17希望の灯り」(HANDS)**

〒652-0865神戸市兵庫区小松通3-2-1 TEL078-682-1117 FAX078-682-1227

E-mailtasuki.project@gmail.com ウェブサイト<http://www.117kibounoakari.jp>

●TASUKI PROJECTの概要はこちらから [http://www.117kibounoakari.jp/tasuki\\_project.html](http://www.117kibounoakari.jp/tasuki_project.html)

## 避難生活・被災地支援活動の際に 放射線被害を少なくするための注意事項

2011年3月25日(金)

東北地方太平洋沖大地震での避難生活、復興活動および被災地支援活動は、これまでの災害と大きく違い、福島原発の重大事故への対応も伴うことに注意が必要です。原発の事故状況と注水作業、外部電力との接続活動などが連日報じられ、大きな危機が去ったような報道も見受けられますが、政府の公式発表でもまだまだ予断を許さない状況となっています(3月24日現在)。

「原発事故は終わっていない・終息までにはかなりの時間が必要」「事故の影響は長期間、広範囲におよぶ危険性が高い」「状況によっては人体にも影響が及ぶ」、これらのことを忘れないでください。そのうえで十分な準備と情報を入手し、状況の変化に対して慌てずに適切な対処ができるようにしてください。

### 1 放射線汚染に関する基礎情報

#### ①放射線汚染状況の把握

今後どのようなことが起こるか、まだ予断は許されない状況です。原発から30km以上離れていても、風向き、天候などの影響で、思わぬ遠方で放射線濃度が高まる可能性があります。「SPEEDI」と呼ばれる「放射能影響予測ネットワークシステム」による予測情報がまだ公表されていませんが(3/24現在)、これが公表されるようになったら、ぜひ情報を入手するようにしてください。特にこれから現地支援に行かれる人は、念のため、グループや活動拠点ごとに放射能検知機を持っていくことをおすすめします。またこれは数時間から半日後の発表になりますが、文科省の放射線モニタリングデータが公開されていますので、参考にしてください。

参考：<http://eq.sakura.ne.jp/>または<http://eq.wide.ad.jp/>

#### ②天気、風向きの把握

復興活動、支援活動、また生活行動中は天気や風向きをできる限り把握し、福島原発から風下になる場合は、活動時間に気を付け、また放射能線検知機がある場合は、データの変化に十分注意を払うようにしてください。特に風下で雨が予測される場合は、下記の服装の注意を確認してください。

#### ③乳幼児、子ども、若い人への影響と配慮

子どもや若い人ほど、将来的な甲状腺がん等の発

症など放射能汚染による影響を受ける危険性があります。現地では、子どもたちも被災者支援ボランティアとして頑張ってくれています。また支援ボランティアの中にも大学生など若い人が多いと思われると思います。本人はもちろんですが、まわりの大人たちが上記の②や③を理解し、注意を促してください。

### 2 放射線被害を少なくするための服装

4月に入ると暖かい日もありますが、肌の露出をできるだけ少なくしてください。仮に放射線がほとんど検出されない地域でも、被災地での作業は塵ほこりを吸い込む危険性が高く、湿らせたマスク、タオルが役立ちます。また帽子や防塵用メガネの着用もお勧めします。

行動中に放射能物質が付着する場合に備えて、下記のような服装をおすすめします。

- 雨具(カッパ)** (放射性物質を落としやすくするため、表面がつるつるした素材のものが望ましい。できればフード付き)
- 帽子など頭を覆うもの** (放射線は髪の毛に溜まる)
- マスク・タオル** (放射性物質が鼻や口から入る内部被曝を防ぐため、濡れタオルで鼻や口を覆う。放射性物質は非常に小さいのでマスクは常に湿らせておくことが肝要。そのために薬用などの小さなスプレーの空き容器に水を入れて携帯しておくといよい)

### 3 被災地支援に行く人に持参してもらいたいもの

- ガムテープ** (屋内待機用：窓や換気口の密閉に使用)
- 医薬品** (絆創膏：放射能は傷口からも入るので念のため持っておく)
- 地図**
- 方位磁針** (放射線汚染を避けるためには風上に移動する必要がある)
- できればスマートフォンと充電器** (充電機)
- 40歳までの方は、昆布、またはとろろ昆布★**
- 放射線検知機、放射線警報機**  
(活動拠点ごと、グループごとでも)

★甲状腺を安定ヨウ素で飽和させておくと、放射性ヨウ素の吸収を防ぐことが期待できます。ヨウ素を多量に含む食物に昆布、とろろ昆布があります。こ

れらを少量毎日摂ることをすすめます。なお、もともと甲状腺に何らかの障害のある人は摂取に注意が必要です（「放射能で首都圏消滅—誰も知らない震災対策」三五館などより）。

## 4 万一、外にいたときに放射線汚染にさらされていることがわかったら

とにかく、まわりの屋外におられる方に呼び掛けて、屋内に退避してください。

屋外にいて退避するまで

- ・濡れたタオルやマスクなどで口や鼻を覆う。
- ・常に帽子、長袖の服、手袋などで露出を防ぐ。
- ・雨には、放射性物質が含まれている可能性があるため濡れないように十分に注意する。濡れた場合

は、衣服を脱いで、湿らせたタオルで体をふく。髪の毛はよく拭き、ブラッシングをする。できればシャワーを浴びる。

### ●屋内退避の注意点

放射性物質が飛散している外気が室内に入らないよう、窓を閉め、エアコンや換気扇も切ってください。また、隙間がある場合は、ガムテープで隙間を防いでください。

### ●もし万一、被曝したと思われる場合の対応

まずは、衣服を脱ぎ、ビニル袋に入れて廃棄してください。また、身体を濡れた布でふくか、シャワーをできる限り早く浴びてください。医療機関、役所等とすぐに連絡をとってください。

## 放射性物質による影響 内部被曝に注視を

### レントゲンやCTスキャンと原発による被曝は違います

テレビ等で専門家や解説者と言われる人が、福島原発による放射性物質の影響について、CTスキャンより弱いとか、レントゲンとおなじぐらい、レントゲンの〇回分、といった表現をしています。これは大きな間違いです。また影響についても、「直ちに人体に影響が出るレベルではない」と平気でテレビの解説者達が言っていますが、これも間違いです。短時間に出る人体への被害とは別に、甲状腺がんなど長期的な悪影響があります。正確な知識が必要です。

レントゲン、CTスキャンはあくまで、医療のために、ごく一時的に放射能をますが、ずっと浴び続けるものではありません。被曝のリスクはありますが、病気をみつけるために、あえて行っているものです。必要もなくレントゲンを続けて浴びる人はいないでしょう。原発事故によって拡散した放射線の、浴びる時間はレントゲン、CTスキャンのように一瞬ではありません。

### 体内に吸収してしまう放射性物質による内部被曝

レントゲン、CTスキャンは、機器の整った室内で行われるのに対し、今回の事故で放出された放射性物質は空気中をまわっているわけですから、服や肌に付着する外部被曝（表面汚染）と口、鼻、皮膚、傷口から吸収する内部被曝がおきます。

外部被曝（表面汚染）は、服を着替え、髪や身体を洗って影響を軽減することもできますが、内部被曝の場合は飲み込んだり、吸い込んだりすることによって放射性物質が体内に入り、その後も体外に放出されるまでは、体内で何段階かに分けて分裂し、放射線を出し続けるので注意が必要です。つまり、体内に入り込んだ放射性物質は、長期にわたって細胞の遺伝子が傷つけ、がんや白血病のリスクが高める危険性が高い、と指摘されています。<sup>※1</sup>

現に、今なお、チェルノブイリの事故により、周辺地域および放射性物質が風と雨で集中的に降った地域で、甲状腺がんを発症する人が数多くいます。

※1 世界保健機構（WHO）日本原子力事案FAQ

## ～生命を第一に 予防原則にもとづき情報を発信～

環境市民では、この度の大地震、大津波の直後から被災地に必要な支援活動を構築してくと共に、福島原発の重大事故に強く関心をおき、良心的な科学者、専

門家、専門的な知識や経験のある環境NGO、市民と情報共有をはかり、必要と思われる情報を発信してきました。



政府、東京電力は、あくまで原子力推進の立場でしか、国民に情報を伝えていないのではないかと思います。事故の影響が日々悪化する状況になっても与謝野馨経済財政相が、「日本中どこの地域を探しても環太平洋火山帯の上に乗っている国だから（地震が多いという）その運命は避けようがない」「日本経済を支えるために原子力を利用するのは避けて通れない道」と言っていることから明らかです（3月22日）。

本来このような極めて重大な原発事故では、予測される最悪の状況に基づいて、生命第一で取り組むべきでした。しかし、これまでの経緯で明らかのように、なんとかなるだろうという希望的観測に基づいてしか情報発信がなされず、事態が悪化するに従って、政府は小出しに情報を出しています。

### ●情報開示不足がパニックをおこす

政府は、パニックを恐れてというような言い訳をしています。情報を十分に出さず、事態が悪化してから急に慌てて出せば、より大きなパニックになります。国民を信じて例え厳しくても必要な情報開示することが政府の責任ですが、残念ながらそのようになっていません。（6ページ参照）

事実、避難勧告を発令するのが遅かったため、自力で移動することがむずかしい高齢者や入院中の方は取り残されるという事態がおきています。また、福島原発から20km～30kmの屋内退避のエリアでは、医院や食料品店、コンビニ、スーパー、給油所等の生活に必要な施設のかなりが閉店状況となり、エリアに残った人々が途方にくれるという状況も現れています。さらに屋内避難から自主避難に切り替えたことで、より大きな混乱が起こっています。

### ●内部被曝を軽視する政府、メディア

また、政府やメディアは、放射性物質の健康影響について、レントゲンやCTスキャンと比較しても「直ちに健康への影響がない」というような説明をくり返すなど、市民が内部被曝の影響を軽視してしまうような発言を続けています。（内部被曝については4ページ参照）これでは、結果的に被曝者を増やすこととなります。人の命と地球環境を全く無視したものです。

### ●水俣に学ぶ

政府、メディアが伝える環境情報に大きな誤りがあったという経験は日本にはいくつも存在しています。その代表的な事例が水俣病です。かつて水俣病は、風土病とされていました（そのため水俣「病」という名前が残っています）。当時の政府、政府や企業とのつながりのある「専門家」は、チッソ水俣工場は関係ない、もしくは直接の原因者ではないとしていました。マスメディアもその政府情報をあまり検証せずに流していました。原因がチッソ水俣工場から排出された有機水銀（それが魚介類で蓄積され、魚介類を食べた人間に多大なる被害を与えた）であると突き止めたのは、在野の専門家であり、それを日本社会で認知させていったのは、各地の在野の専門家、患者団体、支援団体です。しかし原因が有機水銀であると「公式認定」されるまでに時間がかかり、被害を大きく拡大させてしまったのです。さらに、風土病とされたことで、多くの深刻な人権侵害さえ起きました。当時チッソは、日本の戦後復興、経済発展を担う国策会社でした。現在の原子力発電が国策であると同じように。

私たちは、このような世界的な事例に学ばなければなりません。原発問題や環境問題に取り組んできたNGOや専門家たちが言うことが、全て正しいとはいいきれません。しかし、原発推進が主政策である政府、原発を抱える電力会社がスポンサーであるマスメディアの情報だけで自分や家族の生命がかかったこと判断することは、より危険性が高いのではないのでしょうか。両方の情報を一人ひとりが考え、見極めることが大切と考えます。

環境市民は、引き続き「予防原則」に基づき、人の命を守ることを第一に情報発信を続けます。同時に、阪神淡路大震災時の現地ボランティア活動の経験（2ページ参照）を活かして、支援活動を行っていきます。すでに東北地方太平洋沖地震に関しても、HANDSさんの活動に共同し物資支援をスタートし、多くの参加を得ています（2ページ参照）。さらに、被災地の方や多くのNGOと協力し、環境NGOとして何ができるのかを考え、行動していきますので、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 極めて不十分な情報公開 世界からも批判をよぶ

福島原子力発電所の事故を巡る日本政府や東京電力の説明に、なにか変だな、と感じられた方も多いでしょう。安齋育郎氏（立命館大学特命教授、放射線防護学）は、原発事故への対応として次の原則を挙げています。

- (1) 何が起きているのか、事実を知ること
- (2) 報道は、「隠さない、嘘をつかない、意図的に過小評価しない」

この原則はなにも原発を持ち出すまでもなく、社会通念として当然のものです。

事故発生直後から、政府は、最初、「原子炉はコントロール下に置かれている」「心配はない」、その後は「計測された放射線量は、ただちに健康に影響を与える数値ではありません。冷静に」との説明を繰り返すだけで、なぜそのように言えるのかきちんとした説明も、第一次資料の開示もほとんどなされてきませんでした。環境市民が行った、福島原発事故に関する情報公開についてたずねるアンケートでも政府の情報公開についてきわめて不十分と思う人が69%、不十分と思う人が24%となっています。<sup>\*1</sup>

本来、国民の生命や財産の保障を信託された政府として、原発事故のような環境に重大な影響をもたらすおそれがある場合、たとえ科学的立証がなされなくとも「予防原則」に則った臨機応変な対策を講ずるべきであることは、過去の激甚な公害被害の教訓から明らかかなことです。

海外からの批判も相次ぎました。IAEA（国際原子力機関）の天野事務局長は、3月18日午前、「国際社会の連携と情報の公開がもっと必要だ」と述べていま

す。<sup>\*2</sup>また、ニューヨーク・タイムズは、「日本の政治、官僚機構は、問題の広がりや深刻さを明確に伝えず、外部からの助けを受け入れようとせず、動けなくなっている」と指摘しています（3月18日読売新聞）。

英国のフィナンシャルタイムズ紙も3月21日の社説で、「真実を受け止められない、おびえる子どものように国民を扱うことをやめなければならない」「『原子力は安全』というやみくもな保証を国民はもはや受け入れない」と、日本政府の情報隠蔽体質と不確かな証拠に基づく原子力行政を批判しました。<sup>\*3</sup>

メディア側にも問題があります。記者クラブに集うメディアは、電力会社から広告収入が多いためか、多様な専門家やNGOの意見を紹介することなく政府の発表に対し、深く掘り下げる質問もせずにそのまま報道しがちです。テレビに登場する「専門家」ももともと原発推進の立場をとる人が大半で、「あまり心配はない」を繰り返してきました。根拠のない説明は憶測を呼び、かえってチェーンメールなど様々な風評が飛び交うことを助長し、国民が生命を守るために有用なNGOや地域メディアの情報までその影に隠してしまう弊害をもたらしました。

政府、国内メディアの対応は、それぞれの責任や影響力を十分に認識せず、総じて消極的であったといえます。情報公開は国民主権、民主主義の根本原則であり、情報面からも原子力政策のよろさがあらわになりました。

<sup>\*1</sup> アンケートはgoogleのアンケート機能を活用して実施いたしました。無作為抽出をして調査したものではありませんので、必ずしも国民の世論を反映したものではありません。（3月28日）[http://www.kankyoshimin.org/modules/blog/index.php?content\\_id=87](http://www.kankyoshimin.org/modules/blog/index.php?content_id=87)

<sup>\*2</sup> NHKニュース 3月18日 13時8分

<sup>\*3</sup> 2011年3月21日付、共同通信ウェブサイト「47NEWS」より <http://www.47news.jp/CN/201103/CN2011032101001054.html>

## コミュニティーFM から特番：原発事故情報を発信

福島原発事故発生後、3月14日から環境市民は、コミュニティーFM京都三条ラジオカフェと協力し、原発事故に関する情報をどう理解すればよいのか、環境市民のネットワークを活用し、専門家におうかがいしてきました。地域にねざした情報を地域に伝えることが得意なメディアですが、今回はインターネットを通じて全世界に発信することができました。

### 特番の 聞き方

■京都三条ラジオカフェ 地震関連番組Ustream ⇒遠隔地でもリアルタイムで聴けます。  
<http://www.ustream.tv/channel/fm797-radiocafe-live-program-from-kyoto>

■アーカイブ ⇒環境市民の過去の特番はこちらから聴けます。

[http://www.kankyoshimin.org/modules/blog/index.php?content\\_id=66](http://www.kankyoshimin.org/modules/blog/index.php?content_id=66)

環境市民ウェブサイトトップ>東北地方太平洋沖地震震災情報～原発事故・ボランティア等～>特番：福島原発事故による影響を原発問題専門家にきく

📌 特番：福島原発事故の内容

	出演者名（敬称略）	概要
3/14 (月)	京大原子炉実験所 助教 小出 裕章 京都精華大学教授 細川 弘明	<b>原発事故の影響について (1)：</b> 破局的になるか否か？ の瀬戸際である。今回、報道陣は自分で、見て聞いている報道ができない。東電・政府の発表のみしかわからない。正確な発表が必要である。
3/15 (火)	京大原子炉実験所 助教 小出 裕章 京都精華大学教授 細川 弘明	<b>原発事故の影響について (2)：</b> 破局に一歩一歩近づく。必死の努力がなされているが、期待できないのではないかと。被曝は急激に影響が現れ、急性傷害は数10kmの範囲で発生し、10年間は影響が残る。関西でも4日以内に収穫できるものは収穫した方がいい。食糧供給がストップする恐れがある。妊婦等は関東を離れることを勧める。
3/16 (水)	京大原子炉実験所 助教 小出 裕章	<b>原発事故の影響について (3)：</b> ヘリコプターでの冷却作業について。4号機は建屋の穴が横にあいているので、水をまいても使用済み燃料プールを冷却できない。冷却する方法の名案はない。1から3号機も同じように冷却が難しい状態にある。
	ドイツ在住環境ジャーナリスト 村上 敦	<b>ドイツでは日本の原発事故はどのように報道されているか？：</b> 最初は地震と津波情報だけであったが、12日1号機の映像と反原発集会が予定されていたことから関心が原発に移る。情報が少なく、政府も苛立つ。即刻、1980年以前の古い原発の運転中止や安全規制の見直しを開始。専門家は最悪事態の発生を議論し、政府に伝えているようだ。ドイツでは厳正な情報開示で、マスコミ記者も専門知識を持って活動している。日本政府発表は「測定値がUPしたが心配ない」との繰り返しであるが、「こういうことが予想されるが心配なし」というべきである。
3/17 (木)	環境エネルギー政策研究所所長 飯田 哲也	<b>この事態をどう捉えて行動すべきか？：</b> 状況は収まるどころか悪化。一番心配しているのは、マスメディアに正確な情報が伝わっていないことだ。スリーマイルを越えたとと思われる。
3/18 (金)	永井隆記念国際被曝者医療センター長（チェルノブイリ事故の医療にも従事） 山下 俊一	<b>放射能汚染の影響について：</b> 医療での被曝量と、今回の原発災害による被曝量とは別次元で対比すべきである。今回は内部被曝である。ヨウ素分を含有するワカメ、昆布は甲状腺がんへのブロックになる。
3/21 (月・祝)	琉球大学名誉教授 矢ヶ崎 克馬	<b>内部被曝の影響について：</b> 体の表面に対する被曝は報道されているが、体内に取込んだ時の内部被曝がなされていない。本当に危険なのは内部被曝である放射線の微粒子は花粉の1/10 (1μm) と極めて小さく、完全防御は困難である。
3/22 (火)	京大原子炉実験所 助教 小出 裕章	<b>原発事故の影響について (4)：</b> 3号機はプルトニウムを燃料としており、他機とは異なる。今以上に悪化すれば、圧力容器が破損し、燃料格納庫も破損する。これが破局である。冷却できるか否か？ 破局に至らないという情報は持っていない。
3/23 (水)	反核医師の会代表世話人 児島 徹	<b>医者立場から現在の状況をどう捉えるべきか？：</b> 内部被曝は危険であり、全くメリットのない原発と医学的にメリットのある放射性物質を比べること自体誤っている。
3/24 (木)	無農薬京やさい軒先販売、京都反原発めだかの学校 佐伯 昌和	<b>原発事故の影響について：</b> 農家として栽培したものを廃棄するのは残念・無念。有機栽培のため、土壌をひっくり返すことが多く、土壌汚染が長く続くであろう。

コミュニティFMの可能性 広がる

巨大地震と大津波が発生した3月11日、京都三条ラジオカフェでは、たまたま予定されていた番組を急遽、震災特別番組に切り替えるとともにUstreamでも同時放送し、夜間には、神戸にある同じコミュニティFMの「FMわいわい」から、外国人向けに始めた多言語放送をラジオカフェでもネット中継の呼びかけがあり、京都と神戸のコミュニティFMが結んで多言語の震災情報を流すという画期的なことができました。

もっとも力を入れたのはマスメディアが流す東京電力や政府発表では原発事故の真相がわからず、如何にして市民に真実を電波で伝えることでした。そ

れには普段から交流のあるNPO法人環境市民から積極的な提案があり、すぐさまネットワークを動員しての貴重な情報と知識が連日放送されています。Ustreamには放送開始とともにアクセス数が見る見るうちに上がり、京大原子力実験所の小出裕章先生出演の際には最高の数値となり、真実が知りたい市民のニーズに合致していることを実感。これはラジオカフェが、「発表もの」に頼るマスメディアとは違い、「環境市民」をはじめ情報を広く獲得できる市民の放送局であるからだと思えます。

NPO法人京都コミュニティ放送  
理事・放送局長 町田 寿二

【原発関連おすすめ情報収集先】

NPO法人原子力情報資料室  
(Citizens' Nuclear Information Center)

原子力情報資料情報室は、原子力に依存しない社会の実現をめざしてつくられた非営利の調査研究機関。http://www.cnlic.jp/

**おすすめ!** 原子力情報資料室の動画配信サイト

原発の専門家が随時記者会見を行っています。政府や電力会社が発表するデータをどう受け止めればいいのか、具体的に、わかりやすく説明しています。http://www.ustream.tv/user/CNIC\_JAPAN



# 特集：春の生き物観察



この特集の取材をしていた3月は、いつもの当たり前の春が訪れると思っていました。それから大地震、原発事故が起こり、企画の変更を余儀なくされました。それでも、生き物からもなにかを感じ取りたいという思いがありました。何が起こっても、私たちの隣で、生き物たちも日々命のバトンを受け渡ししながら生きています。今朝、ペランダの隅でスマリが咲いているのを見つけました。たぶん、鳥が運んできたのだと思います。これからも、この地球で、日本で、私たちは生き物と一緒に生きていく、その思いでこれを書きました。（3月25日に）

ついこの間まで、寒さで縮こまっていた生き物たちも、活動的になる春です。観察をしようと思ったときに、ちょっとしたコツを知っていることで、随分と楽しくなります。今回、鳥、植物、虫、それぞれのエキスパートの方に助言をいただいて、観察するポイントを簡単にまとめてみました。（以下 敬称略）

それぞれの話の前に基本的なことを、

- ごみや、そこにはいない外国の植物、動物などを持ち込まないこと
  - みだりにさわったり、持ち帰ったりしないこと
  - 慣れないうちは、観察会に参加したり、機会があれば詳しい人と一緒に行くこと
  - 図鑑で調べるともったのしい
- ただし、図鑑を買う場合は、よく考えて自分に合ったものを買うこと



それでは怪我や日射病にも気をつけて、長袖や動きやすい服装、靴、帽子など、自分も心地よい状態で、観察に出かけましょう。

## 鳥はどんな一日を送っているの？

いつも見かける鳥、時々見る鳥、名前がわかれば、どんな特徴を持っているのかもわかり、どんどん楽しくなります。



### 基本的な見方

- ・ **大きさの把握** 基本の鳥のものさしを覚える。  
スズメ（14cm）、ムクドリ（24cm）、ヒヨドリ（27cm）、キジバト（33cm）、ハシブトガラス（56cm）
- ・ **鳴き声** 鳥によって地鳴きやさえずりがちがう。地鳴きは日常の鳴き声、さえずりはなわばりを確保するためとメスを引き寄せるための鳴き声。
- ・ **色や形** 羽の色、模様、足やくちばしの形や色、長さなど 似たように見える鳥でも、足の色だけが違った色をしていて、それで種類がわかる。
- ・ **動き方** 尾のふり方、歩き方、飛び方 姿形は似ていても、歩くのもいれば、チョンチョンと飛びはねるものもある。

- ・ **鳥は羽のケアを必ずする**……水場で待っていると鳥がきます。水を飲むのももちろんですが、毎日水浴びをします。
- ・ **眠る時間は？**……だいたい日没前に、ねぐら入りするのが多いようです。
- ・ **見やすい時間帯はあるのか？**……水鳥ならだいたい一日中見ることができます。小鳥なら、朝6時ごろに活動が活発になります。

### 時期によって見られる鳥は違う

ほぼ1年中見られる鳥もいれば（留鳥）、季節によって国内を移動する鳥（漂鳥）もあります。今の時期に日本より南から子育てしにやってくるのが、夏鳥です。逆に冬越しに日本より北からやってきていた冬鳥はもう北に帰っています。

### 鳥の一日を知るとおもしろい

鳥はどんな生活をしているの？ 一日の行動を探ってみましょう。たとえば

- ・ **鳥の餌について**  
何時ごろにどこで餌をとっているか？  
どんな餌を食べているか？  
その餌をどうやって食べているか？

鳥は種類にもよりますが、2時間ごとくらいに餌を採ります。その波がわかればチャンスが高まります。

### この時期ならではの鳥の姿と注意

春は鳥たちの活動が活発になる時期。恋愛と子育ての季節です。暖かくなるとともに、オスはさえずってメスにアピールします。カップルが成立し、子育てが始まると、親たちは忙しくなり、神経質になります。鳥たちは、命をかけて子育てをします。人間が近くにいると、巣の場所をさとられないように、巣には近づかないこともあります。そうになると、ヒナに餌をあげる回数が減り、ヒナが衰弱してしまうこともあります。子育ての親子には近づかな



いよう、見てもすぐに離れてあげるようにしてください。

営巣中の親子は静かに見守りましょう。みだりに音をたてたり、笛を鳴らしたりしてはいけません。そして、巣から落ちたヒナは拾わないこと。ひ弱そうに見えてもヒナは自分で餌を食べることができるようになっているかもしれません。それに、親も近くにいることが多いのです。とても交通量が多いと

ころなどでは木にとまらせる、あきらかにけがをしているときは鳥獣救護センターなどにつれていくなどの処置が必要な場合もあります。鳥たちの世界とある程度の距離を持ち、彼らの生活をおびやかさないようにしながら、観察を楽しんでください。

協力 西台 律子（日本鳥類保護連盟専門委員）  
（文/ニュースレター編集部 千葉 有紀子）

## 春は植物とともに 元気に過ごそう

### 植物の本体は茎である

色も形もさまざまな植物ですが、基本的な構造はすべて一緒です。根・茎・葉・芽・花などから構成されているように見えますが、元々は茎が本体であり、それが葉や根に変化したと考えられています。海中で誕生した植物が陸上に進出したときは茎にあたる部分のみが存在し、やがて地中から水を吸収するために根ができ、光合成のために葉ができたのです。寒い環境下に適応するために若い葉の外側に鱗のような厚い葉で覆い、芽になりました。葉に色をつけるなどして花ができました。砂漠で見られるサボテンは水分を蓄えるために茎が太くなり、水分を使いすぎないように葉を小さくしたトゲは動物から身を守るために好都合でした。

このように植物はさまざまな環境下でその形状を変え、生き残ってきました。植物を観察するときには、なぜこのような形状になったのかということを考えておもしろいかもしれません。

### すぐその植物を見てみよう

植物を見に野外へ出るのは腰が重いかもしれませんが。知識や技術がないけど大丈夫なのかと。しかし、何もなくても構いません。まずは身近なところにある植物を見てみましょう。お気に入りの植物を決め、毎日注意深く見るのが大切です。初めは2011年3月号で紹介した『野山の植物』（牧野晩成著、2000年、小学館）のようなポケット図鑑で調べながら、観察するとよいでしょう。観察のときにはメモ帳に日付、場所、時間を明記し、デジカメで気になる植物を撮ると後で振り返りやすいでしょう。虫眼鏡などで観察することもときにはあります。その際、スケッチをすると植物の不思議さやおもしろさが発見でき、お気に入りの植物ができるかもしれ

花が咲いたり、芽がでたり、春は植物観察に  
びったり。



ません。より本格的な勉強は、『原色日本植物図鑑』（北村・村田著、1957年、保育社）などの専門書がよいでしょう。また、観察会やセミナーに参加し、専門家の方の話を聞くことも勉強になります。

### 春の植物を楽しもう

春は、就職や進学など暮らしが変化する季節。それは植物についても同様です。「冬は必ず春となる」ように寒い冬を超えて、暖かい春になると植物は芽を出したり、花を咲かせたり、元気に活動しはじめます。さまざまな変化を楽しむ観察にはぴったりのシーズンです。特に桜の花には心を晴れやかにし、日本の春を感じます。この時期は自然と元気が湧き出でるかのようです。これは、桜の花粉に、エフェドリンという物質が含まれており、交感神経を刺激し興奮を誘発させているのです。元気で明るい人から生きる力をもらうように、まさに人は桜に息吹を吹き込まれているのです。

### 温暖化の影響

ここ数年、桜の開花時期が遅くなっています。地球温暖化の問題が叫ばれて久しいですが、その影響で植物の発育不全が起こっている可能性も考えられます。今後は南に咲いている花が北部でも見られるようになるでしょう。また、植物は動物より移動が遅いので、温度の急激な変化には耐えられず、絶滅してしまうものもでてくるので、私たち人間が持続可能な社会をつくることは急務です。

### 植物とともに生きる

植物は人類が誕生するはるか以前からさまざまな厳しい環境の下、生存し続けてきました。その植物に我々は学ぶべきことがたくさんあります。かけがえのない植物とともに生きていくために、観察会

やセミナーだけでなく、グリーンセイバー（NPO 法人樹木・環境ネットワーク協会 <http://www.shu.or.jp>）のような資格検定に挑戦するなどして、植物

にもっと歩み寄ってみませんか。

協力 片山 雅男（本会理事 夙川学院短期大学教授）

（まとめ/ニュースレター編集部 上山 裕継）

## 昆虫観察の いろは

春は昆虫が動きはじめる季節。観察しはじめるにはぴったりのタイミングです。



### まずは捕まえてみよう。

まずは観察の方法です。

昆虫はまずは捕まえないとわかりません。よく動くものは特に一度捕まえてみましょう。捕まえた後は、まず羽根の模様や形をチェック。図鑑と照らし合わせてみてください。

【捕まえ方】……………

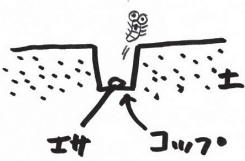
#### ●その1：傘を使って捕まえてみよう

見えないところに隠れている昆虫を捕まえるのは一苦労。そこで、傘を使って簡単にいろんな虫を捕まえる方法をご紹介します。まずは傘を開いて逆さまに。樹の枝の下などにもっていき、枝をがさがさと降ります。すると、驚いた昆虫が落ちてきます。



#### ●その2：トラップ（わな）をしかけてみよう

地面にエサをいれたコップを埋め込みます。夕方しかけて、朝回収すると、夜の間に活動する虫を捕まえられます。おすすめの場所は川原や空き地、ちょっとした森のあるところ。エサは、カルピスやアルコール、ソーセージやつり用のエサ。ただし、鳥や獣に食べられないように注意してください。



- ①捕まえたらルーペを使ってよく観てみましょう。
- ②特徴をつかみながら、図鑑で調べてみましょう。
- ③種類がわかったらスケッチをするなどして記録を残しましょう。

### こんなところに注目すると面白い

#### ◆ハネの色は？……………

昆虫は世界に百数十万種類いるといわれ、全動物の6割を占めています。てんとう虫でも約160種類い

ます。すべてを急に知るの難しいのですが、一つの虫にしぼってみて、姿形はもちろん、エサや生息地について調べていくと、昆虫の面白さ、生態系の大切さに気づくかもしれません。

#### コラム 私、マズイです！

羽根の色を変えたり形をかえたり、長い年月をかけて、昆虫たちは巧みに天敵から身を守っています。下の写真の昆虫はイタドリハムシ。テントウムシによく似ていますが、実は違います。姿形をテントウムシに似せることによって、テントウムシをいじったときに臭い汁が出ることを鳥が連想するために、狙われにくくなります。



提供：大阪市立自然史博物館

#### ◆どこから来たの？……………

昆虫を調べていくときには、生息地にも注目してみましょう。

#### コラム 来たくてきたわけじゃありません

ベダリアテントウはオーストラリア原産。そんな離れたところからなぜ？ それは、人の勝手な都合でした。カイガラムシを食べてもらおうと日本の農業に導入した結果、広まった動物です。

#### コラム 絶滅した種類を知る

図鑑をみていくと、絶滅した種類も載っています。イギリスの貿易商、ジョージ・ルイスさんの名前にちなんで付けられたルイスハンミョウは河口付近の砂泥地に生息していたのですが、自然海岸の減少により近畿では絶滅しました。

このように姿や形、羽根の状況をみていくと、私たち人の影響によってどんな影響を受けているかを知ることができます。まずは身近なところから観察してみましょう。

協力 初宿 成彦（大阪市立自然史博物館主任学芸員）

（まとめ/ニュースレター編集部 有川 真理子）

## 京 1Day ボランティアデー

毎月エコな話題をおしゃべりしながら会報誌みどりのニュースレター発送作業をしています。どなたでも参加できます。お気軽におこしください。

- \*とき：4月26日(火) 午前11:00から午後7:00頃  
4月27日(水) 午後2:00から7:00頃
- \*ところ：環境市民京都事務局
- \*備考：予定時間を過ぎて来られる場合はご連絡ください。
- \*次回発送予定日は5月27日(水) 午後2:00から7:00頃

## 京 やってみよう！エコ地蔵盆 説明会

子どもの健やかな成長を願って行われる夏の伝統行事「地蔵盆」。今年はその工夫の一つに「環境」の視点を取り入れてみませんか？環境市民が提案する「エコ地蔵盆」は、環境を切り口に組み込んで、ごみ減量や町内の活性化にもつながるという効果を生んでいます。今回は、エコ地蔵盆に取り組んだ町内の方をお迎えし、エコ地蔵盆の魅力や取り組むコツをお話いただきます。

- \*とき：4月17日(日) 午後1:45から4:15
- \*ところ：(財)京都教育文化センター 202号室  
京都府京都市左京区聖護院川原町4-13
- アクセス：神宮丸太町駅5番出口から徒歩3分
- \*参加費：無料 \*定員：50人(先着順)
- \*申込み：環境市民 \*主催：環境市民
- \*後援：京都市環境政策局循環型社会推進部

### ●こんな人におすすめ！

- ・平成23年度の町内会長さん、地蔵盆や地域活動担当の役員さん・地蔵盆や地域のお祭りを盛り上げたい人
- ・祭りのごみの量を減らしたい人

## 共 第2回京都サイクルフェスタ in 宝池

京都議定書発効の地、宝ヶ池から自転車の魅力を発信します。スポーツバイク試乗や部品・用品・ウェアの試用、市内主要自転車店・メーカー・団体・地元飲食店などの即売・出展、DVD映画上映、講習会、招待選手デモ走行・模擬レースなどがあります。環境市民も共催し、自転車チームちやり民もブース出展します。

- \*とき：5月1日(日) 午前9:30から午後5:00
- \*ところ：宝池ドライビングスクール
- \*参加費：無料
- \*申込み：不要 試乗は要事前申込み
- \*締切：試乗申込みは定員になり次第
- \*問合せ：075-241-0110 ECO通STATION 担当：今居  
<http://eco.freedom.or.jp> Eメール [eco@freedom.or.jp](mailto:eco@freedom.or.jp)  
京都サイクルフェスタ in 宝池公式ホームページ  
<http://kyoto.cyclefesta.com/> まで
- \*備考：雨天中止
- \*企画：あべきた事務局(有限会社ティーエスピー)
- \*主催：ECO通STATION (NPO法人フリーダム)
- \*共催：環境市民

## 編集員が行く！

編集部のアナテナにかかった選りすぐりのエコ情報を伝えます！

### No.22 神奈川・境川遊水池公園の春イチバン

水辺の象徴、カルガモやバン。色彩鮮やかなカワセミやキジ——もともと洪水被害を抑える目的で造られた神奈川・境川遊水池は、今ではヨシやガマ



公園の全景

が生い茂るビオトープへと生まれ変わり、鳥の楽園となっています。最寄駅から徒歩10分以上と交通の便はよくありませんが、観察に訪れる人はたくさん。休憩所のテーブルはほとんど埋まっていた。自然への関心の高まりの表れでしょう。

事務所で双眼鏡(無料)を借りたら早速ビオトープへ。自然再生ゾーンなのでさすがに直接ビオトープの中に入ることはできませんでしたが、1羽のコサギが柵を越えて、なんと目の前2メートルの所まで急接近!さすが公園のマスコットのモデルというだけあって、ファンサービスは欠かさない——なんて感動したのも束の間、いざカメラを向けると狙ったようにそっぽを向くサギ。むう、新手の恋愛詐欺ですか。

寂しさとおかしさ半々で苦笑していると、突然近くにいたスズメやムクドリが慌しく飛び立ち、釣られるようにサギもパッと飛び立ちました。今しがたヨシ原にいたカワセミも去り、瞬間に鳥の気配が消えたビオトープ。その理由は、はるか上空にありました。時



コサギ  
(そっぽを向かれています……)



境川遊水池キャラクター  
シロサギのユウ(遊)ちゃん

折羽ばたきながら、青空に大きく弧を描く茶色い影——種類はわかりませんでした。急に周りがシンとなって寂しかったものの、食物連鎖の頂点にいる猛禽が来るのは、ここが生物多様性に富んだ場所だからに他なりません。自然再生の試みが確かに実を結んでいることを、肌で実感しました。

そんな生きもの豊かな公園は、実は私が毎週行っているテニスコートの間近にありました。今回、取材先を探していて初めて気がついたんです。自然と触れ合う機会が減ったといわれる昨今ですが、ちょっと足を運べば、自然体験の場は案外近くにあるものなのかもしれませんね。

(文/ニュースレター編集部 鷹野 圭)



## 水Do! キャンペーン 急須で淹れて楽しむ2Rのお茶会～おいしいお茶と未来の環境～

2月6日（日）、京都市中京区室町二条にある、京町家さいりん館にて「急須で淹れて楽しむ2Rのお茶会」が行われました。自分でおいしくお茶を淹れるという体験を通じて、ペットボトルや缶入りのお茶が増えてしまった世の中を見直す。そしてそこからさらに一歩進んで未来の環境についても考える。そんなきっかけになればという思いで、容器包装の3Rを進める全国ネットワーク、FoE Japan、環境市民が共同で開催したイベントです。

### 一保堂茶舗のお茶教室

まず創業290年、日本茶専門店の一保堂茶舗さんを迎え、日本茶の種類や急須の選び方などを教えていただきました。おいしいお茶が淹れられる理想的な急須は、穴の沢山開いた大きな茶漉しが付いていて、本体と蓋がぴったり密着するよう丁寧に作られたものなのだそうです。一通り基礎的な知識を教わった後は手順を守って各自お茶を淹れました。



参加者は自分で淹れたお茶とお菓子をいただきます



一保堂茶舗さんによるお茶の淹れ方教室

お茶は抽出や冷ます時間が少し違うだけでも、味に違いが現れるということを確かめるために、参加者間でお互いの淹れたお茶を交換して試飲。想像以上の違いにあちこちで驚きの声があがっていました。

### 2Rのすすめ

共催団体である容器包装の3Rを進める全国ネットワーク事務局 中井八千代さんからは、2R（ReduceとReuse）を進める活動について紹介されました。

容器包装ごみの減量とリサイクルを進めることを目的に、1995年に制定された「容器包装リサイクル法は2006年に大改定されるものの、「リユース」を進めるための改定にはならず、問題が先送りされたままの成

立でした。そしてその結果、リユース容器の利用は減少、リサイクルに適さない塩素系容器包装の利用が続いています。また問題は、リサイクルにかかる費用は税金で負担されており、ごみをたくさん出す人と出さない人の不公平が生じていること、自治体の負担は大きく、事業者もリターナブルビンよりもコストが低い使い捨て容器を生産し、リサイクル費用も製品価格に上乗せされていないことです。同ネットワーク事務局 中井八千代さんは「リデュースとリユースを促進するための法律を市民のイニシアチブで制定したい」と語っていました。

### ひと手間の中にある豊かさが未来の環境を創造する

環境市民からは堀事務局長が、ごみ問題の基礎知識と3Rについて説明しました。全国市町村のごみ処理費用の総計は約2兆円（年間）、1人あたり1万4,600円、1tあたり処理原価費用は、家庭ごみ約6万円に対し、資源ごみが約24万円と、約4倍の計算です。そのリサイクル費用の大半は地域市民の税金が負担しており、市民の間でも不公平感があります。PETボトルの生産量と回収量の推移は増え続ける中、リサイクルも増加。特にその大半は清涼飲料水（緑茶）であると指摘しました。



イベントの後半、環境市民の堀事務局長とFoE Japanの吉田さんによる講義の様子

### 水Do! キャンペーンについて

同じく共催団体であるFoE Japan事務局 吉田明子さんからは、キャンペーンが始まった経緯と活動内容の紹介がありました。同キャンペーンは水道水の利用をすすめることによって、資源もコストもかかる使い捨て容器を減らそうとしています。自治体に呼びかけたところ、マイボトルに水道水を入れるサービスをしてくれる施設を増やそうとしているところもあるそうです。

水道水でおいしいお茶を自分で淹れて飲む、そのちょっとした工夫で未来の環境を守ることに繋がる実感できた贅沢なお茶会でした。

（文/環境市民ボランティア 新井 佳恵）

## 鴨川の野鳥に環境変化を観る！ ～鴨川に暮らす鳥、飛来する鳥観察会～

環境問題や持続可能な地域づくりに役立つ情報をわかりやすく紹介する講座「野の塾」シリーズとして、2月27日（日）、西田律子先生（日本鳥類保護連盟専門委員）を講師に「鴨川に暮らす鳥、飛来する鳥 観察会」を行いました。参加者はスタッフを含め35人。小学生から年配の方まで幅広い年齢の方が参加しました。



西台先生

### “あっ”という間の観察会

午前10時に、賀茂川と高野川の合流する三角州公園（京都市内左京区）に集合し、観察会がスタートしました。その後、両川の合流地点にかかる“河合橋”を挟んで北へ少し上がり、また、河合橋を下って加茂大橋を越え、荒神橋の手前までの約1キロを10か所ほど立ち止まりながら、“あっ”という間の2時間半でした。最後は、西台先生中心に、今日見た鳥の様子や種類などを参加者で確認し合ったり、感想を述べあったりしてお昼の12時半に終了しました。

### 大きさと嘴で見分ける

「今、水に潜った」「ほら、魚をとらえた」「あれは、羽の防水をしているところ」など、野鳥を視界に捉えたその瞬間、フィールドスコープの焦点をすぐさまその鳥に当て、瞬間、瞬間の野鳥の“動き”や“しぐさ”を説明してください先生。野鳥の行動や暮らしぶりについて、まるで、鳥の仲間から直接、話を聞くかのように生き生きとしていました。



西台先生の説明を聞きながらスコープ等で観察

「鳥は大きさと嘴の色でわかります。同じ鳥でも時期によって、また、オスとメスでも嘴の色が変わります。カワセミの嘴は、上下とも黒いのがオスで、下が赤いのがメス。青サギの嘴は、若鳥の時期のねずみ色から、黄色、ピンクと変化します」。参加者は、セットされたフィールドスコープを何度も覗き込んだり、持

参した双眼鏡を見ながら、先生の身振り手振りを交えた話に熱心に耳を傾けていました。

### 環境変化が野鳥を直撃

「地球温暖化が鳥たちを翻弄している面もあります。シベリアへ帰らず、留鳥になったり、温暖化による暖かさのゆえに、本来、年に一度の産卵を二度も三度も繰り返す、急に数が増えている野鳥もいます」と先生。逆に、卵が孵化したのはいいが、急に寒くなると、魚や水生昆虫が川底に沈み、えさが取れなくなったり、季節はずれの突然の豪雨や洪水で流されたりして、せっかく生まれた雛が死ぬこともあるそうです。

「鴨川の水も、下水道の完備で水質も改善され、水草が育ち、多種類の魚や水生昆虫が生息できるようになりました。浅瀬や中洲もあり、今、鴨川は野鳥にとって、最高の生息地のひとつです。それでも鴨川は、管理された川で自然のままの川ではありません。鴨川は現在、中洲なども適切に生かしながら、治水と自然との共存に知恵を絞って、10年計画で浚渫工事中です」と西台先生から説明がありました。

### 23種類の野鳥の発見に驚き

「鴨川で23種類もの野鳥を観察できるとは思っていませんでした」「何気なく見ている鳥も、フィールド



この日も5から6種類の鴨がいた

スコープで見ると、その特徴やしぐさが大変よく分かりました」「温暖化など環境の変化が野鳥にも大きな影響を与えていることを知りました」「野鳥の生活や行動をより身近に感じることができました」など、参加者からは、観察会を通して感じた驚きや気づきの声がたくさん寄せられました。西台先生によると、「鴨川で見た鳥の種類は約120種。その中にはいるはずも無い鳥や留鳥になって生んだと思われる新種の鳥なども含まれています。鳥の種類の変化に、川の汚染の変化や、気候変動など環境の変化を観る思いがしました。

（文/環境市民事務局 加藤 昭 写真：小出 廣行）



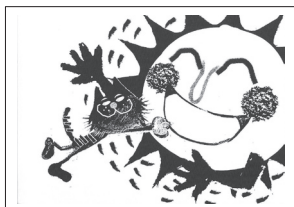


## みどりの仲間たち

♣ 持続的社會を旨として活動する環境 NGO の仲間たちです

### 『NPO 法人きょうとグリーンファンド』

認定 NPO 法人きょうとグリーンファンドは、この 10 年「おひさまプロジェクト」を進めてきました。公共施設（幼稚園や保育園）に、市民や企業の参加を求めながら太陽光発電設備を設置し、その施設を拠点として環境学習を続けていくプロジェクトで、環境市民さんとは、当初から参加呼びかけや環境学習の講師として、ご協力をお願いしてきました。「子どもたちにエコを伝えるには、まず自分自身の暮らしを見直さなくては……。」と気づいた先生方、「地球がお熱になるから、シャワーを出しっぱなしにしないで」とお父さんが使っているシャワーを止める



10 周年記念につくられた絵本から

子どもたち。そんな「地球思いの人たち」が増えています。

10 周年を記念して、「たくさんのエネルギーを使わなくても、豊か

な世界があるよ」という思いを託したささやかな絵本をつくりました。昨年夏の異常な暑さを思い出します。地球が「熱中症」にならないうちに、あなたもアクションを起こしてください！

なお、この絵本はきょうとグリーンファンドの「おひさま基金」にご寄付いただいた方にお送りしています。（一冊 500 円程度のご寄付をお願いします。送料はこちらで負担します。）ご希望のかたはお名前、住所を明記の上、ハガキ、FAX かメールで、下記までお申し込みください。

いただいたご寄付は「おひさま基金」に積み立て、自然エネルギーの普及のために使わせていただきます。振込み先は、絵本送付時にお知らせします。

▼認定 NPO 法人 きょうとグリーンファンド  
京都市下京区五条通り高倉西入る万寿寺町 143  
FAX : 075-352-9150 E-mail : info@kyoto-gf.org  
（文／認定 NPO 法人きょうとグリーンファンド  
理事・事務局長 大西 啓子さん）

## (((インフォ@エコ

♣ 環境に関するオススメの本、映画、音楽などを紹介します。

### 私のおすすめの名著 /

### 『自動車の社会的費用』

宇沢 弘文著、1974 年、岩波新書（735 円、税込）



今や私たちの生活と切っても切れない関係にある自動車。しかしその普及は、大気汚染のみならず、事故や遊び場の破壊、安全な歩行の妨害等、人間らしい生活の犠牲を伴ってきました。このように経済活動が他者や社会に及ぼす悪影響のうち、発生者が負担してい

ない部分を集計した額を「社会的費用」と呼びます。本書は自動車の悪影響を指摘した上で、社会的費用を算出し、その発生を抑制するための方策を探った古典的名著です。近年エコカーが補助金を得て売り上げを伸ばし、新たな経済成長推進力として期待されていますが、少し立ち止まって自動車の問題点を考えるために、ぜひ精読したい一冊です。著者は、理論経済学の実験で活躍する一方、公害などの現実問題にも早くから取り組んできた宇沢弘文氏。市民的権利を尊重する一貫した立場から提供される、社会問題を分析する枠組みに学び、持続可能な社会のあり方を考えてみませんか。（文／ニュースレター編集部 和氣 未奈）

### ミーティング\*（いずれも京都事務所で行います）

\*4月 6日（水）午後7:00から9:00  
ニュースレター編集部

### 新入会/寄付\*（3月1日から3月31日まで）

〈寄付〉菊池 暁子/島村 吉男/（株）ドリームワン  
松澤 克己/原野 知子/二松 康/村瀬 健次郎

### 今月のありがとう

目立たないところでも、お力を貸してくださった方々に、感謝をこめてー。

榎原 里枝/栗田 有紀/趙 淑姫/長谷 敏夫/  
結城 亜沙香/楊 達 /（五十音順敬称略）

### 環境市民寄付キャンペーン ～認定NPOをめざして～

環境市民は、持続可能な社会を地域からつくっていくための活動を行っています。この震災、原発事故に対しても継続的に、活動を展開していきます。寄付控除の対象になる認定 NPO の基準（案）を満たすため、1 口 3000 円以上からお願いいたします。

【郵便振替】口座番号：01020-7-76578  
加入者名：環境市民

ご意見・ご感想宛先：メール・FAX・郵送でお送りください（MAIL）newsletter@kankyoshimin.org（FAX）075-211-3531  
（郵送）〒604-0932 京都市中京区寺町通二条下ル 呉波ビル3階NPO法人環境市民 みどりのニュースレター編集部 宛





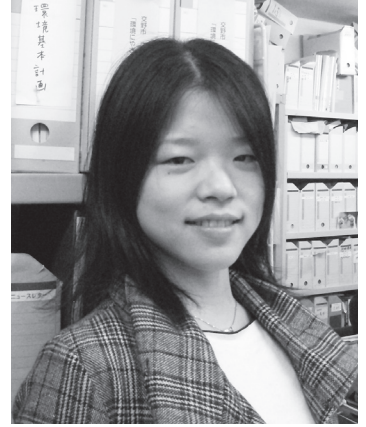
# 環境市民

かんきょうしみんぶんのいち

★環境市民の会員を紹介します

## no.70 新井 佳恵さん

大阪市出身。国際環境専門学校で環境分析を学び、最近まで食品微生物の仕事をしてきました。その一方で将来は憧れの「声」の仕事につくため、新たな出発を決意しました。



### 「今しかできない」と「向かって進んで行きたい

#### ■汚れた環境を改善したくて

新井さんは、自分が育った大阪を流れる淀川を見るたび、ごみや油で汚れていることが気がかり、子どもの頃に両親と歩いた山で見た、澄んだ流れにできないだろうかと思っていました。

高校卒業後の進路を選ぶとき、専門学校で紹介を見た、土ではない培地で植物が育つ不思議さに興味をおぼえました。「生物を活用して環境に役立つ仕事につけるかもしれない」と思った新井さんは、この専門学校へ入学しました。

卒業後に就職した会社では、食品微生物検査を受け持つ衛生管理の職場に配属されました。しかしここは新井さんがやりたかった環境改善の仕事ではありません。希望が叶わなかったことは残念ですが、学校で学んだバイオロジーの専門知識や技術は役立つ業務。「確かに、入社後しばらくは仕事に夢中になっていました」と、新井さんは過去を思い出していました。

#### ■「なりたい自分」との葛藤

すっかり仕事にも会社生活にも慣れた頃、ふと子どもの頃から秘めていた、「いつか声を使った仕事がいい」という思いが強くなりました。これまで

では「声の仕事は、すぐでなくてもいい。最初は違う世界で頑張りたい」と考えて続けた仕事でしたが、湧き出た想いは抑えられません。新井さんはお母さんに相談しました。両親と話し合い「とりあえず3年間は仕事を頑張つて続け、その後に新たな世界に踏み出そう」と決めました。

結局、会社の人達や雰囲気がとても良かったこともあって、5年半の間、仕事を続けました。「でもこのまま会社に居て、やりたいことをしないで過ごす、きつと後悔する」と思った新井さん。何か始めようとインターネットで「環境、ボランティア、ラジオ」と入力して検索しました。そこでヒットしたのが、環境市民のおしゃべりラジオチームのボランティア。早速、新井さんは昨年11月に環境市民のボランティア説明会に参加しました。

#### ■新たな世界へ一歩前進

新井さんが加わった「おしゃべりラジオオチーム」は、毎週月曜日の午後1時から15分間、FMラジオ京都三条ラジオオカフェ(79.7MHz)で、身近な環境問題をテーマにした「エコまちライフ」という番組を放送しています。これまでインタビューの収録を3回行い、新井さんの声が放送で流れました。

今まで「声」の仕事に憧れてはいましたが、実際に放送の編集やパーソナリティーをするのはこれが初めて。「二つひとつがすごく勉強になりました」と新井さん。「でも、全部ひとりですることになったら、すごく大変そう」と目を輝かせていました。

新井さんは、環境教育プロジェクトを行っているSKIPチームにも参加しています。このチームが行っている「エコファイターショー」という環境問題を分かりやすく伝える劇の中で、エコファイターというキャラクターも演じました。子ども達に何か聞かけると、すぐに反応が返ってくるのが楽しくて「やっていて熱いものを感じた」と語っていました。

「環境市民にはたくさんの方々と様々な種類の仕事があるから、いろいろ試せていいですねえ。でも試した中では、私はこの仕事は向かない、と思うものもありました」と、新井さんは肩をつぼめて微笑んでいました。

#### ■未来へ向けて

最近、新井さんは「やりたかった夢」の実現に向けてボイストレーニング教室へ通っています。「パーソナリティーになることも選択肢には入るけど、具体的にはまだ決めていない」と言います。環境市民ボランティアなどの経験で感じたインスピレーションを大事にして、なりたい自分への進路に舵を切つて進む、と語っていました。私は新井さんの話

### 編集後記

今回の特集で植物を担当しました。植物の見方や楽しみ方を学ぶことができたので、春の植物スポットである京都の貴船・鞍馬や東京の高尾山に行ってみたくなりました。地震による被災地の早期回復を願い、可能なら一緒に春の植物を観察できればと思いました。冬は必ず春となります。希望を捨てないで下さい。応援しています。(ニューズレター編集部 上山 裕継)

### 編集部 (五十音順)

有川 真理子  
大槻 達郎  
風岡 宗人  
久保 友美  
駒部 ゆき香  
坂部 安希  
角出 貴彦  
武田 麻里

を聞きながら、環境問題やバイオロジーに精通しているパーソナリティーが誕生するかもしれない期待を感じました。  
(文/ニューズレター編集部 松尾 俊介)

サイクリングの  
季節到来!

# 京都自転車マップ 京都市内版・京都郊外版



自転車で走りやすい道・危険な道・おすすめコース・休憩ポイント・すべての道路・自転車店・コンビニ・銭湯から公衆トイレなどサイクリングには欠かせないポイントを紹介しています。

種類は「京都市内版」「京都郊外版」の2冊。各々地図とお勧めコース紹介の冊子が、ジッパー付ビニール袋に入っています。地図は水濡れ・折目破れに強い特殊紙を使用。各書店および主要自転車店でも販売しています。

【編著者】NPO 環境市民・LLP 自転車ライフプロジェクト

【地図のサイズ】約60×90cm

【冊子のサイズ】A5変形、48p、全頁カラー、中綴じ

【発行】西日本出版社

【申込み方法】郵送希望の場合は、お名前、ご住所、電話番号、E-mail、「まちなか版」「郊外版」それぞれの希望冊数を明記の上、「京都自転車マップ希望」と記入し、環境市民までお申し込みください。ボランティアにより発送を行うためお申し込みから1週間程度のお時間をいただきますのでよろしくお願い致します。環境市民京都事務局で直接販売もしています。

【価格(税込)】市内版 1,000円 郊外版 1,100円

【送料】1冊80円、2冊160円。それ以上はお問合せください。

【支払い】郵便振込後払いになります。振込手数料はご負担ください。

次号  
予告

みどりの  
ニュースレター

No.216  
2011年5月号

現在  
編集中!

特集：福島原発大事故を受けて（仮）

今回の原発事故から見てきた日本の弱点。脱原発の道すじ。

ラジオ番組「環境市民のエコまちライフ」京都三条ラジオカフェ（79.7MHz）

身近な話題から旬の話題まで環境の視点から情報発信 ● 放送時間：毎週月曜午後1:00から1:15（再放送は火曜朝7:00から）  
インターネットでの試聴・ダウンロードはこちら→ URL: <http://kankyoshiminradio.seesaa.net/>

環境市民に  
入会しよう!

環境市民は、多くのボランティアと会員の皆さんの参加によって支えられています。  
「持続可能で豊かな社会づくり」のために、ぜひ会員になって環境市民の活動を応援してください!

## 会員特典

- 月刊会報誌「みどりのニュースレター」をお届けいたします。
- 行事などの参加費を割引させていただきます。
- 環境に関する様々な情報を得たり、また質問や相談ができます。

## 会費

種別	年会費	入会金
個人会員	4,000円	1,000円
ペア会員	6,000円	2,000円
シニア・学生会員	3,000円	—
ファミリー会員	8,000円	2,000円
助成会員	10,000円	—
特別助成会員	50,000円	—
終身会員	一括 80,000円	—
営利法人会員*	1口 50,000円	50,000円
非営利法人会員*	1口 10,000円	2,000円

※年会費は一口以上

## 会費の振込み方法

- 1) 郵便振替振込用紙に、住所・氏名・電話番号・会員の種類・送金内容事項をご記入の上、「年会費+入会金」をご入金ください。（※シニア・学生・助成・特別助成会員は入会金不要）
- 2) ご入金を確認後、最新のニュースレター、入会記念としてポストカードをお届けします。

## 寄付をする

住所・氏名・電話番号・寄付金額をご明記の上、下記の振込先へお振り込みください。

## 会費・寄付のお振込み先

【郵便振替】口座番号：01020-7-76578  
加入者名：環境市民

(発行) 特定非営利活動法人 環境市民 (代表) 校本 育生 (発行人) 堀 孝弘

TEL : 075-211-3521 IP 電話 : 050-3581-7492 FAX : 075-211-3531

E-mail : [life@kankyoshimin.org](mailto:life@kankyoshimin.org) URL : <http://www.kankyoshimin.org>

〒604-0932 京都市中京区寺町通二条下ル呉波ビル3階 (月から金午前10:00から午後6:00)

### ●環境市民 東海事務所

TEL&FAX : 052-521-0095

E-mail : [tokai@kankyoshimin.org](mailto:tokai@kankyoshimin.org) URL : <http://www.kankyoshimin.org/tokai/>

〒451-0062 名古屋市西区花の木1-12-12 AOIビル4階

### ●環境市民 滋賀事務所

TEL : 077-522-5837 E-mail : [cefshiga@kankyoshimin.org](mailto:cefshiga@kankyoshimin.org)

〒520-0046 大津市長等2丁目9-12 竺 文彦気付



この印刷物は風力発電による自然エネルギーを使用して大豆インキで印刷しました。印刷：(有) 札書房



環境市民  
Citizens Environmental Foundation

